



宮永岳彦記念美術館だより

2021 3 月

発行/ 秦野市立宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室

宮永岳彦と旅にでる

2020年11月27日(金) ~ 2021年6月27日(日)

▶▶▶ 展示作品より今月の一点 ▶▶▶
《 暖 》

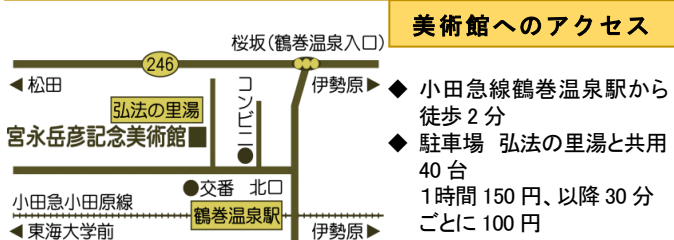


「何気なく病院でつけた画題だったが、淋しいとか哀しいという意味があるというんだな…不思議だね。」と宮永。この作品の制作時、宮永は入院加療中でした。当初、キューピットは描かれていませんでしたが、入院中に構想し、無理やり退院して加筆しました。

黒の背景に、スタンドグラスの鮮やかな赤やエメラルドグリーン色彩が、重厚で静寂な世界観を醸し出しています。また、浮かび上がるように描かれた女性はしっとりと儂げです。中央のキューピットが見つめている女性は、伏し目がちで悲哀を帯びた表情をしており、どこかミステリアスです。宮永の半年後の逝去を思うと、暗示的なこの作品は最後の大作になりました。

油彩画 1986年(昭和61年) 120F×2

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料



《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

3月の休館日: 1日(月) 8日(月) 15日(月) 22日(月) 29日(月)

市民ギャラリーのご案内

入場無料

水彩スケッチ四季

3月31日(水)~4月3日(土)
10:30~16:30 (初日13:00から 最終日16:00まで)

明るく爽やかな水彩画です。岡田ユキオ先生指導の下、海外や日本の風景・花など約40点を展示いたします。

4月の市民ギャラリー展覧会の予定

秦野スケッチ会

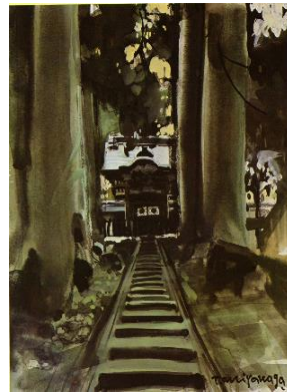
4月29日(木)~5月5日(水)

※ 3月2日(火)から9月分までの予約を受け付けています。

宮永が、全日空の機内誌の『翼の王国』に寄せた挿絵と文章をご紹介します。

フライトギャラリー

永平寺
(翼の王国 52号 昭和48年10月より)



た旅を楽しむことができる。

あるとき、福井の町から永平寺へ出向いた私は、ここが、かの蓮如上人の道場とはいえ五百年も前に、何故、このような山の中の地を上人が選んだのか不思議でならなかった。

北陸といえば直感的に金沢の兼六園を思い浮かべる。その代表は、何といっても琴柱(ことじ)灯籠で、加賀百万石の城下町の歴史への追憶に誘われる。また、深山幽谷に一大聖地を残す永平寺。若狭の海の東尋坊。岩壁や洞窟の中に観音三十三体を刻む那谷寺と、日本の歴史をひもとく心地にも似た落ちついた

大切な人へ絵はがきを出しませんか

コロナ禍で、自粛生活にも疲れ気味。そんな時、心のこもった絵はがきを受け取ったらどんなに癒されるでしょう。

当美術館では、美人画、童画、風景画と宮永の絵はがきを多種ご用意しております。

3月は旅立ちの季節。絵はがきで温かいエールを贈りませんか。

